

今回は、去る2月17日から21日まで第8次千葉県医療救護班の一員として阪神大震災の地・神戸へ行つて参りましたので、そのことにつきご報告したいと思います。

私達千葉県医療班は、神戸の中央区のやや山よりの小学校で医療救護活動をさせて頂いたのですが、私の出発時にはJR住吉まで運転しており、からはバスで被災地に向ました。私達のいた避難所は山よりで地盤が比較的安所であつたためか倒壊ビルなどがたくさん倒壊家も少なかつたのですが、岸よりの地域は家屋や鉄ビルなどが多くありました。私は、まさにニュースで

横芝町のみなさん、は  
まして。今月号から宇野  
に引き継ぎ、このページ  
康についてのお話を書か  
頂きます東陽病院内科の  
です。どうぞよろしくお願  
あいくださいますようお  
します。

## 阪神大震災の地・神戸

## 医療救護活動にあたり

困憊してしまい、自分でどうしていいのかわからなくなつてしまつてゐるボランティアの女の子の姿があり、被災者のみなさんやそれを支える人達の苦難はまだ終わっていないんだなと感じさせられました。特に独り暮らしのお年寄りなどは、生活の場を失い頼るものもなく、どんなに精神的に深い傷を負つた

所のみなさんとでも、もしもそのときの“危機管理体制”を話し合ってみてはいかがでしょうか。

医療救護活動  
などでした。  
しかしその中に時々、  
精神的に大きなダメージ  
を受けたためか、ほとんどの  
話も出来ず落ち込んでしまつてゐる人や、疲労

言ひきのうがわざたれかたれかた  
ん。そなつてしまつた時、  
周囲の人達と出来るだけ早く  
復興に向けて、スタート出来  
る体制を整えていたいもので  
す。

勤にあたり 災害そのものからくるのがなどはもうなく、寒い避難所生活のために起きた風邪やいつものんで、いる薬がほしいなどで、受診する患者さんがほと

sorder (外傷後ストレス障害) と呼び、ロサンゼルス大地震の際に注目された病気であるそうです。

映像そのままの惨状でした。しかし、倒壊を免れた商店や飲食店は、すでに営業を始めており、街を歩く人々もかなり平静を取り戻している感じでした。医療救護活動も震災から約1ヶ月経過していることもあり、

か計算できません。そんなときこそ周囲の人達の援助が必要でしよう。そのことを痛切に教えられた気がしました。

健康ウォッチング

17

暮らしの  
ワフポイント ②

祝儀・不祝儀のア・ラ・カルト

3月と4月は、卒

3月と4月は、卒業、入学、就職と慶事の多い季節です。また、季節の変わり目で、不祝儀を出す

なくありません。祝儀を問わず、知つておくことを紹介します。

が一般的です。慶事はの「寿」、入学や就職御祝、そのほかになどがあります。弔事は靈前や御香典、

「靈前」や「御香典」などです。豪華な袋に、金を包むのもおかしなし、その逆も同じといふでしょう。「御靈前」袋は、包む金額に合わ

教すべてに、「御香典」  
みに使われます。

が、毛筆で書くのが礼事は濃く、弔事は薄く」  
祝儀を薄く書くのは、  
涙で墨も薄くなるとい

書き方には、決まりが

